

◇天文部紹介

天文部は3つの班に分かれて活動しています。観測カメラ班は、屋上にある口径 30cm のカセグレン式望遠鏡を用いて天体の観測・研究をしています。星作班は、主にプラネタリウム投影機の製作・プラネタリウムの投影を行っています。化石・鉱物・岩石班では鉱物や化石、岩石に関する活動を行っています。それ以外にも一般生徒向け天体観望会、小中学生や地域の方向けの天文教室、化石教室など、「教育」「研究」「一般普及」をキーワードに、幅広い活動を行っています。

◇部員数

【高校】1年次 17名 2年次 27名 3年次 24名 合計 68名

【中学】1年生 7名 2年生 8名 3年生 6名 合計 21名

(2019年12月4日現在)

◇活動日・活動場所・活動時間

○通常期間中の平日は原則週3回の活動

- ・ 月曜日 … 地学実験室、天体観測ドーム
- ・ 水曜日 … 地学実験室、天体観測ドーム
- ・ 金曜日 … 地学実験室、天体観測ドーム

活動時間は（下校時刻：～19：00（4～9月）、～18：00（10～3月））

○その他

約3か月に一回、校内に泊まり徹夜観測。

8月上旬に、東京学芸大学附属高校主催の合宿に参加。

◇その他

○最近の学会発表実績

- ・ 日本天文学会第20回ジュニアセッション(2018.3.17)
 - 「惑星からの光の光学的特性について」
 - 「分光観測によるA型星のスペクトルの比較」
 - 「散開星団、球状星団のCM図を用いた年齢の推定」
 - 「地球照のスペクトルより地球の大気成分を追う」
- ・ 日本地球惑星科学連合 2018年大会高校生セッション(2019.5.20)
 - 「変光星の光度変化とスペクトルの関係」
 - 「自作プラネタリウムにおける流星、星座絵の投影機の検討」
 - 「夜空の明るさと環境要因の関係」
- ・ 日本天文学会第21回ジュニアセッション(2019.3.17)
 - 「Gamma Cassiopeiaの光度変化とスペクトルの関係」
 - 「地球照のスペクトルを用いたブルーシフトの捕捉-宇宙から眺める地球の大地-」
 - 「食連星 β Lyr の分光観測」
 - 「月が吸収する太陽光の解析～スペクトルを比較して～」